

## 椋山女学園大学看護学研究 投稿要綱

### (名称)

本誌は、椋山女学園大学看護学研究とする（英文誌名：Nursing Research of Sugiyama Jogakuen University）。

### (発行)

原則として年1回を発行とする。

### (投稿者の資格)

1. 本学部教員および助教・助手（他学部および学外者との共同研究も可）
2. 非常勤講師
3. 「看護学研究」学部紀要編集委員会(以下、紀要編集委員会とする)が依頼した者

### (倫理的配慮)

研究内容は倫理的に配慮されたものであり、その旨が本文中に明記されていること。

### (投稿の種類)

原稿は、総説、原著、研究報告、資料、その他とする。その基準は次のようである。

#### (1) 総説

とりあげた主題について、内外の諸研究を幅広く概観し、その主題についてのこれまでの動向、進歩を示し今後の方向性を展望したもの。

#### (2) 原著

独創性と知見に新しさがあり、研究としての意義が認められること。及び、研究目的、方法、結果、考察など論文としての形式が整い、主張が明確に示されているもの。

#### (3) 研究報告

内容的に原著に及ばないが、学術的発展に寄与すると判断されることから、研究としての意義があると認められるもの。

#### (4) 資料

研究上重要な見解や記録を示しており、資料的価値のあるもの。

#### (5) その他

海外研修レポート、主催した地域貢献の紹介、教育活動報告・看護実践報告等紀要編集委員会が認めたもの。

### (投稿の制約)

原稿は、他誌へ発表が予定されているものや発表されたものは認めない。

### (執筆要領)

原稿は別に定める執筆要領に従うものとする。

### (申込み)

投稿者は別紙「投稿申込書」に所定事項を記入して受付期間内に紀要編集委員会に提出する。

### (査読)

査読の対象となる原稿は総説、原著、研究報告、資料である。

査読者は、紀要編集委員会が選定した者、2名があたる。

原稿の採否は、査読を経て紀要編集委員会が決定する。

### (掲載)

掲載順序は原則、論文の種類別、受理順とする。

(著作権)

著作権は学校法人相山女学園に帰属する。

電子情報化などの使用に関する権利は、著作者から学校法人相山女学園に委譲されたものとする。

投稿に際しては、著作権に関する内容および電子情報化に関する権利について著作者全員が同意しているものとみなす。このことに関し投稿者は共著者全員に承諾を得た上で投稿するものとする。

相山女学園大学看護学部ホームページ及び相山女学園大学学術機関リポジトリを通じて、内容の検索、閲覧を可能にする。

附則

この要綱は、平成22年6月8日から施行する。

附則

この要綱は、平成26年7月9日から施行する。

附則

この要綱は、令和3年6月8日から施行する。

## 椋山女学園大学看護学研究 執筆要領

### A. 日本語文

1. **論文の長さ**：原則として、A4版1ページに1600字で作成し、10枚以下とする。本文には頁数をつける。
2. **原稿**：Microsoft Wordで40字×40行とする。提出は、プリント原稿3部（正本1部、副本2部）を「看護学研究」学部紀要編集委員会（以下、紀要編集委員会とする）とする。投稿論文の採択決定後に、本文、要旨、図表などを保存したCD-RまたはUSBメモリを提出する。なお本文は緒言、方法、結果、考察、結語、文献に分けて見出しをつけ記載する事を原則とする。
3. **字体**：原則として常用漢字・現代仮名遣いとする。ルビ、ゴシック、太文字などの指定は、直接、原稿に朱書する。挿入外国語は、カタカナで明瞭に書く。外国人名、日本語訳が定着していない学術用語などは原語を用いる。
4. **表紙（タイトルと著者名を含む）**：原稿には表紙（表紙フォーマットを使用）を設け、希望する論文の種類、日本語タイトルと著者名・共著者名、英語のタイトルとローマ字書き著者名・共著者名、所属施設名、ランニングタイトル（20字程度）、図表の添付枚数、キーワード（3～5、日本語と英語でつける）、連絡先を記入する。
5. **要旨**：本文に要旨を、日本語文と英語文の両方つける。要旨は、目的、方法、結果、結論に分けて見出しをつけ記載することを原則とする。資料、その他の投稿においては、英文要旨は不要とする。

表 論文の種類による和文・英文要旨、キーワード記載一覧

	要旨（日本語文）	要旨（英語文）	キーワード（日本語）	キーワード（英語）
総説	○	○	○	○
原著	○	○	○	○
研究報告	○	○	○	○
資料	○		○	○
その他	○		○	○

6. **図の作成**：原稿とは独立の紙面で作成する。紙面で提出する図は、高品質紙に十分な余白をとって作図し、またはプリントする。解像度の高い明瞭な図であれば、印刷原寸で作成してもよい。図内の文字は、明瞭な書体を使う。通し番号とタイトルをつけ、本文とは別に一括し、本文の最後に添付する。図は原則として、1枚あたり400字に換算し、白黒印刷で判別できる明瞭なものとする。
7. **表の作成**：複雑な表や、直接挿入したい表の場合は、6の要領と同じとする。通し番号とタイトルをつけ、本文とは別に一括し、本文の最後に添付する。表は原則として、1枚あたり400字に換算し、白黒印刷で判別できる明瞭なものとする。
8. **写真**：必要であれば、縮小率を明記する。
9. **レイアウト**：図、表、写真などを挿入する場合には、著者は予めおおよその割り付けをして、本文原稿右横の空白に明示する。
10. **定稿**：提出原稿は、十分推敲した完成原稿でなくてはならない。
11. **校正**：著者校正は、最大2校までとする。校正時の大幅な加筆・修正は認められない。
12. **抜刷り**：著者の自費負担とする。

13. 引用・参考文献の記載方法：文献は，原則としてAPA（American Psychological Association）論文の記載方法に準じて，明記する．具体的な引用については以下を参照すること．

A. 文中の引用について

- (1) 文中の引用箇所には「著者の姓（西暦文献発行年）」を付けて表示する．

例：著者名によると，「－＜引用文＞－である」と述べている場合  
鈴木（2010）によると，「－＜引用＞－である」と述べている．

- (2) そのままの引用ではないが，要約または参考にした文献は，引用の場合と同様にそれについて述べた後にカッコを付し，著者名と発行年次を表示する．

例：－＜要約＞－である．  
－＜要約＞－である（鈴木，2011）．

- (3) 2名の著者による単独の文献の場合，その文献が本文に出現するたびに常に両方の著者名を表記する．

例①：著者名と著者名は「－＜引用文＞－である」と述べている場合  
鈴木と佐藤（2011）は，「－＜引用＞－である」と述べている．  
例②：全文ではなく要約をした場合  
－＜要約＞－（鈴木&佐藤，2011）．

- (4) 著者が3名以上の場合，文中の引用では最初の著者名のみ，文章の後のカッコ内には3名までの著者名を表記する．

例：①大野ら（2012）によると，「－＜引用＞－である」と報告されている．  
②－＜要約＞－（大野，中山，&橋本他，2012）．  
③－＜要約＞－（White，Brown，& Black，et al.2012）．

- (5) 複数の文献を引用した場合は筆頭著者のアルファベット順に表示し，セミコロンで並べる．

例：（中山，2014；佐藤&橋本，2011）

- (6) 同一著者による，同じ年に発行された異なる文献を引用した場合は，発行年のうしろにアルファベット小文字を付し，これらの文献を区別する．

例：2010a，2010b

- (7) 同一文献の異なるページまたは複数ページを引用する場合は，引用後に著者名，発行年，ページ数を書き添えて引用箇所を明確にする．

例：①－＜引用＞－（中山，2006，p105，118）  
②－＜引用＞－（中山，2006，p104-105）

- (8) 翻訳本を引用した場合には，著者名（原作出版年/翻訳本出版年）を表示する．

例：Walker & Avant（2005/2008）によると，－＜引用＞－．

## B. 文末の文献リストについて

- (1) 本文原稿の最後に【文献】とする。
- (2) 一括して、著者名のアルファベット順に列記する。
- (3) 文献リストの記載方法は下記の例に従う。  
2行以上にわたる場合は、2行目以降を2文字分下げる。

### (4) 雑誌の場合

著者名. (発行年). 表題. 雑誌名, 巻 (号), 頁-頁.

例: 文献の著者が複数で共著者が4名以上の場合は最初の3名を記載する。

著者名の後に「他」, 欧人著者の場合は「et al.」とする。

岸恵美子, 吉岡幸子, 野村祥平, 他. (2011). 専門職が係わる高齢者のセルフ・ネグレクト事例の実態と対応の課題: 地域包括支援センターを対象とした全国調査の結果より. 高齢者虐待防止研究, 7, 125-128.

### (5) 単行書の場合

例①: 著者 (編者). 名発行年 (西暦). 書名 (版). 所在地: 出版社.

阿部幸恵. (2013). 看護実践能力を育てる! 看護のためのシミュレーション教育. 東京: 医学書院.

例②: 編者, 監修者のある本の一章の場合

その章の著者名発行年 (西暦). その章の表題. 編者名, 書名 (pp頁-頁). 所在地: 出版社.

麻原きよみ. (2002). 地域診断. 尾崎米厚, 鳩野洋子, 島田美喜 編, いまを読み解く保健活動のキーワード. 東京: 医学書院.

### (6) 翻訳本の場合

例: 著者名 (原著発行年) / 訳者名 (発行年). 翻訳書の書名 (版). 発行地: 出版社.

Walker, L.O. & Avant, K.C. (2005) / 中木高夫・川崎修一訳 (2008). 看護における理論構築の方法. 東京: 医学書院.

### (7) 電子文献 (Webサイト, Webページ)

例) 著者名 (投稿・掲載の年月日). Webページのタイトル. Webサイトの名称. 入手先 (URL等). (検索した年月日 閲覧).

例: 厚生労働省健康局健康課. (2018.2.12). 平成27年国民健康・栄養調査結果の概要. <http://www.mhlw.go.jp>. (2019.9.13 閲覧).

### (8) オンライン版

例: オンライン学術論文 DOIがある場合

著者名. (年号, 月). 論文タイトル. 収載誌名, 巻 (号), 開始頁-終了頁. URL (検索した年月日 閲覧).

名古屋花子. (2017, 6月). 看護研究の基本. 日本看護研究学会誌, 7 (1), 4-15. <http://www.kkkkkkkk>. (2019.9.13 閲覧).

## B. Papers in English

1. **Length of paper:** As a rule, pages should be of A4 size with no more than 1,600 characters per page, and the number of pages should be 10 or less. Paragraphs must be numbered.
2. **Manuscripts:** Manuscripts should be submitted as a Microsoft Word file with 40 lines per page and 40 characters per line. Three print copies of the manuscript (one print is original and two prints are duplicates) should be submitted to the “Nursing Research” department publication editorial committee (hereafter, “publication editorial committee”). The text, abstract, figures, and tables must be submitted on a CD-R or USB after the manuscript is selected for publication. In general, the paper should include the following headings: introduction, methods, results, observations, conclusion, and references.
3. **Characters:** As a rule, use joyo kanji/contemporary kana orthography. Indications such as furigana, gothic, and bold should be in red ink directly on the paper. Foreign-language words should be clearly written using katakana. Foreign words should be used as they are in the native language for names of foreign nationals and technical terms that do not have an official Japanese equivalent.
4. **Cover (Include title and authors):** Provide a cover sheet (use cover format) with the treatise type, title, main authors, and coauthors in Japanese, the title in English with the authors’ and coauthors’ names in roman characters, the names of affiliated facilities, the running title (about 20 characters), the number of attached figures and tables, keywords (3–5 words in both Japanese and English), and contact information.
5. **Abstract:** Provide an abstract in both Japanese and English. In general, the abstract should include the following headings: purpose, methods, results, and conclusion. English abstracts are not required for materials or other posts.

Table: Japanese / English abstracts and keyword descriptions by type of treatise

	Abstract(Japanese)	Abstract(English)	Keywords(Japanese)	Keywords(English)
Review	○	○	○	○
Original	○	○	○	○
Report	○	○	○	○
Document	○		○	○
Other	○		○	○

6. **Figures:** Figures should be on a separate sheet from the main paper. The submitted figures should be drawn or printed on high-quality paper with ample margins. Figures may be printed at their actual size if they are high-resolution and clear. Use a clear font for the text inside the figures. Figures should be numbered serially, titled, batched separately, and attached to the end of the text. Figures should generally total 400 characters per page and be clear enough to be distinguishable on black-and-white prints.
7. **Tables:** Follow guideline 6 for complex tables or tables to be inserted directly into the text. Tables should be numbered serially, titled, batched separately, and attached to the end of the text. Tables should generally total 400 characters per page and be clear enough to be distinguishable on black-and-white prints.
8. **Photos:** Specify the percentage of reduction, if possible.
9. **Layout:** If figures, tables, and photos are inserted into the text, the author should plan an approximate

layout beforehand and specify that layout in the right-hand margin of the paper.

10. **Final draft:** The submitted paper must have a final draft that was adequately revised.
11. **Revisions:** No more than two author revisions are allowed. Significant corrections or modifications are not permitted during revisions.
12. **Offprints:** Offprints can be printed at the author's own expense.
13. **Citations/references:** As a general rule, the literature should be specified in accordance with the description method of APA (American Psychological Association) treatises. See below for specific citations.

#### A. About citations in the text

- (1) The quoted part of the text is displayed with "author's surname (year of publication of the Christian era)".

Example: According to the author's name, "<quote>-  
" According to Suzuki (2010), "<quote>-" is stated.

- (2) Although it is not a citation, the abstract or referenced document shall be accompanied by parentheses after mentioning it as in the case of citation, and the author's name and year of publication shall be indicated.

Example:<Summary>-.  
<Summary>-(Suzuki, 2011).

- (3) In the case of a single document by two authors, both author names are always written each time the document appears in the text.

Example①: When the author name and author name are stated as "<quote>-" Suzuki and Sato (2011) state that "<quote>".  
Example②: When summarizing instead of full text <Summary>-(Suzuki & Sato, 2011).

- (4) If there are three or more authors, only the first author name should be listed in the citation in the text, and up to three author names should be listed in parentheses after the text.

Example: ①According to Ohno et al. (2012), it is reported that "one <quote>".  
②— < Summary > — (Ohno, Nakayama, & Hashimoto et al., 2012).  
③— < Summary > — (White, Brown, & Black, et al. 2012).

- (5) If multiple documents are cited, display them in alphabetical order by the first author and arrange them with a semicolon.

Example: (Nakayama, 2014; Sato & Hashimoto, 2011)

- (6) When quoting different documents published in the same year by the same author, lowercase letters are added after the year of publication to distinguish the documents.

Example: 2010a, 2010b

- (7) When quoting different pages or multiple pages of the same document, add the author's name, year of publication, and number of pages after citation to clarify the citation.



Example: ①— < Citation > — (Nakayama, 2006, p105, 118)  
 ②— < Quote > — (Nakayama, 2006, p104-105)

- (8) When a translated book is cited, the author's name (original publication year/translated book publication year) is displayed.

Example: According to Walker & Avant (2005/2008)-<quote>-.

## **B. About the reference list at the end of the sentence**

- (1) Text [Reference] at the end of the manuscript.
- (2) List all authors in alphabetical order.
- (3) The description method of the reference list follows the following example. If it extends over two lines, lower the second and subsequent lines by two characters.

- (4) In the case of magazines

Author name. (Published year). Title. Journal name, volume (issue), page-page. Example: If the document has multiple authors and four or more co-authors, list the first three. "Other" after the author's name, and "et al." For European authors. Emiko Kishi, Sachiko Yoshioka, Shohei Nomura, et al. (2011). Actual conditions of self-neglect cases of the elderly involving professionals and issues to be addressed; From the results of a national survey of the Regional Comprehensive Support Center. Elder abuse Prevention Studies, 7, 125-128.

- (5) In the case of a single line

Example①: Author (editor). Name Publication year (AD). Title (version). Location; Publisher.  
 Yukie Abe. (2013). Develop nursing practice skills! Simulation education for nursing. Tokyo; Igaku-Shoin.

Example②: In the case of a chapter of a book with an editor and a supervisor Author name of the chapter Publication year (AD). Title of the chapter. Editor's name, Book title (pp-page). Location; Publisher. Kiyomi Asahara. (2002). Regional diagnosis. Yoneatsu Ozaki, Yoko Hatano, Miki Shimada ed., Keyword of health activities to understand the present. Tokyo; Igaku-Shoin.

- (6) In the case of translated books

Example: Author name (original publication year) / translator name (publishing year). Translation title (version). Publisher; publisher. Walker, L.O. & Avant, K.C. (2005) / Translated by Takao Nakaki and Shuichi Kawasaki (2008) .. Method of constructing theory in nursing. Tokyo; Igaku-Shoin.



(7) Electronic literature (website, web page)

Example) Author name (posting / posting date). Web page title. Website name. Obtaining source (URL, etc.). (Search date browsing). Example: Health Division, Health Bureau, Ministry of Health, Labor and Welfare. (2018.2.12). Summary of 2015 National Health and Nutrition Survey Results. [Http://www.mhlw.go.jp](http://www.mhlw.go.jp). (Viewed September 13, 2019).

(8) Online version

Example: If you have an online academic treatise DOI Author name. (Year, Month). Article title. Listed journal name, Volume (issue), Start page-End page. URL (Search date). Hanako Nagoya. (June 2017). Basics of Nursing Research. Journal of Japanese Society of Nursing Research, 7 (1), 4-15. [Http://www.kkkkkkkk](http://www.kkkkkkkk). (Viewed September 13, 2019).

## 編集後記

2021年もまた新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行が見られ、看護学部の講義、演習、実習等に大きな影響がありました。しかし、2020年に得られた経験を踏まえ、コロナへの対応、感染予防対策と併行した看護教育の実施と、先生方が前へ前へと懸命に走り続けた1年間であったように思います。

コロナ禍ではありましたが、今回、総説1編、研究報告2編、資料1編、その他1編を掲載することができました。看護学実習や看護技術に関する研究、教育に関する研究をご投稿いただきました。日々お忙しい中で、論文投稿をしてくださった先生方には、心より感謝申し上げます。また、快く査読をお引き受けくださった先生方からは、丁寧なご意見をいただきました。本当にありがとうございました。2022年も始まりました。今後とも皆様の研究の成果を、看護学部紀要でご発表くださいますようお願いいたします。心よりお待ち申し上げます。

学部紀要編集委員長 池俣 志帆

椋山女学園大学看護学部『椋山女学園大学看護学研究』  
学部紀要編集委員会 2021年度（令和3年度）

委員長

池俣 志帆 Ikemata Shiho

委員

宇佐美久枝 Usami Hisae

寺西美佐絵 Teranishi Misae

椙山女学園大学看護学研究 Vol.14  
2022 年 3 月発行

発 行 椙山女学園大学看護学部  
編 集 紀要編集委員会  
名古屋市千種区星が丘元町17番 3 号  
〒464-8662 TEL 052-781-9206 (事務室)

印 刷 ツゲ印刷株式会社  
名古屋市緑区鳴海町字柳長13番地  
〒458-0801 TEL 052-621-2716 (代表)